

(社) 日本形成外科学会専門医資格更新審査についての公示

2011年8月

社団法人 日本形成外科学会

理事長 平野 明喜

専門医生涯教育委員会

委員長 楠本 健司

(社) 日本形成外科学会は、平成24年度専門医資格更新審査を日本形成外科学会専門医生涯教育制度細則(平成21年4月改定)に基づいて下記の要領で実施致します。

なお、専門医資格更新のための学術研修会の出席点数、学会発表点数および論文掲載点数などの「生涯教育基準点数」は日本形成外科学会専門医生涯教育制度細則：施行細則・別表に記載されております。

また、専門医生涯教育制度細則第11条の改定により、**6年間180点の更新対象者**と**5年間150点の更新対象者**がおりますので、下記更新者一覧を確認の上手続きを行っていただけますようお願い致します。

1. 専門医資格更新審査が必要な方

本年度専門医資格更新審査申請が必要な方は、a)平成18年4月1日に専門医更新を行った者、b)平成19年4月1日に専門医資格を取得した者(専門医番号の上二桁が06の者)、他以下のc)、d)、e)に該当する方です。

なお、詳細は日本形成外科学会専門医生涯教育制度細則ならびに施行細則をご確認下さい。

a)【平成18年4月1日専門医資格更新者】(6年間180点)

細則第4章：第11条の規定による有資格者(2度目・3度目の更新対象者)・敬称略

秋田 定伯	秋元 正宇	秋山 正博	朝蔭 洋子	飯塚 雄久	池田 真理
石田 有宏	稲川 喜一	伊波 博雄	井上 幸彦	井上 尚子	井上 雅博
井上 美栄	今井 章仁	今泉 敏史	芋川 英紀	岩田 浩嗣	上里 尚美
内山 清貴	江口 智明	大塚 尚治	岡田 恵美	岡本 年弘	岡山 直靖
奥本 和生	加王 文祥	加藤 友紀	上 茂	嘉陽 宗隆	河野 恵美
木内 達也	菊池 二郎	岸邊 美幸	岸本 麻子	久徳 茂雄	栗田 和宏
黒田 周一	小浦場祥夫	小坂 和弘	佐藤 俊昭	佐藤 治明	佐藤 英明
佐原慶一郎	柴田 佳子	島田 健一	島田 賢一	白澤 友裕	末吉 修
杉本 陽子	鈴木 隆	鈴木 昌秀	須藤 聡	蘇 雅宏	惣角 卓矢
高瀬 税	高見 薫	武石 明精	竹内 英二	竹内 正樹	舘下 亨
田中 祝	田中 達典	田中 正英	千葉 理	塚原 孝浩	土井 秀明
土佐眞美子	利根川 守	富田 浩一	鳥居 博子	中木 義浩	永竿 智久
中田 洋子	中林 伸之	中村 恭介	中村 正也	南雲 正人	難波祐三郎
丹生 淳史	野口 昌彦	野崎 忍	野田 武志	橋本 昌明	蓮見 俊彰
畑 寿太郎	嶋 真也	畑谷 芳功	浜島 昭人	林 淳也	日下志 巖
平田礼二郎	平野 哲	平野亜佐子	深井 孝郎	福井 雅士	福田 慶三
藤尾 由子	藤田 龍哉	藤盛 成裕	古川 雅祥	牧野 良彦	松村 一
三澤 正男	水戸部知代	三宅 淳一	宮田 昌幸	三好 宏	村下 理

牟禮 理加	森岡 康祐	森本 尚樹	矢島 和宜	安田 昇平	山口 明伸
山口 貴嗣	山路 仁	山下 理絵	山田 朗	山本 雅之	山本 光宏
山本 稔	山本 有祐	横田 和典	与座 聡	吉種 克之	力丸 英明
渡辺 敏成					

b) 【平成 19 年 4 月 1 日専門医資格取得者】(5 年間 150 点)

細則第 4 章：第 1 1 条の規定による有資格者（1 度目の更新対象者）・敬称略

青木 伸峰	赤松 久子	秋本 峰克	飯岡 弘至	飯田 匠子	石井 秀典
井野 康	今川孝太郎	江川 哲雄	太田 壮	大塚康二郎	大槻祐可子
大森 直子	岡田 雅	尾崎 峰	越智 正和	加藤 敬	加藤 優子
金沢雄一郎	川村 達哉	菊池 守	窪田 吉孝	黒澤 智子	小泉 智恵
小谷野博正	近藤 雅嗣	坂本 有孝	塩川 一郎	清水 史明	菅 浩隆
菅 豊明	杉田 礼典	鈴木 文子	須永 中	高木美香子	高須 幹弥
高橋 長弘	竹内 真	田中 浩二	田中 洋平	玉田 一敬	蔦 幸子
手島 玲子	当山 拓也	長尾 由理	中村真一郎	那須和佳子	成松 巖
西 由起子	西岡 弘記	西部 泰弘	野田 和男	長谷川宏美	波多 祐紀
原田 輝一	東盛 貴光	樋熊 有子	菱田 雅之	廣瀬 太郎	福田 憲翁
藤井 美樹	堀 圭二郎	前場 崇宏	南方 竜也	三好みちよ	村松 英之
森 克哉	森田 礼時	守永 圭吾	安村 和則	楊井 哲	柳田 卓也
山本 理奈	渡辺あずさ				

c) 細則第 4 章：第 1 3 条（例外規定）による有資格者

満 65 歳以上の専門医、名誉会員および特別会員については、資格更新のための点数の獲得は免除される。

※平成 21 年 1 月～平成 23 年 12 月までの 3 年間分の年間診療実績記録は専門医更新の該当者全員ご提出頂くことになっております。

d) 細則第 4 章：第 1 2 条（本制度適応の留保）による有資格者

海外留学、病気その他委員会が妥当と認める理由があれば、その間その個人につき本制度の適応は留保される。なお、留保期間中の専門医資格は有するものとする。

e) 平成 2 1・2 2・2 3 年度の資格更新審査において不合格となった者、資格更新の留保未承認者となった者、留保期間が切れた者、専門医資格更新申請未提出者

2. 専門医資格更新申請に必要な点数算定期間

平成 19 年 4 月 1 日に専門医資格を取得した方（専門医番号の上二桁が 0 6 の方）は平成 1 9 年 1 月 1 日より平成 2 3 年 1 2 月 3 1 日までの 5 年間の学会出席、学会発表、論文などを細則第 1 4 条、第 1 5 条、第 1 6 条に従って申請して下さい。5 年間に出席・論文等を含めて 150 点をクリアしていればよく、すべての点数の申告は必要ありません。また、規定により、5 年間に 3 回以上の日本形成外科学会学術集会または基礎学術集会への参加が必要です。

それ以外の方（平成 18 年 4 月 1 日に専門医更新を行った方等）は平成 1 8 年 1 月 1 日より平成 2 3 年 1 2 月 3 1 日までの 6 年間の学会出席、学会発表、論文などを細則第 1 4 条、第 1 5 条、第 1 6 条に従って申請して下さい。6 年間に出席・論文等を含めて 180 点をクリアしていればよく、すべての点数の申告は必要ありません。また、規定により、6 年間に 4 回以上の日本形成外科学会学術集会または基礎

学術集会への参加が必要です。

3. 申請手続き方法

a. 学会事務局より該当者へは11月中旬ごろ申請書類を送付いたしますが、お手元に届かない場合は下記の請求期間内に書面にて申請書類の請求をして下さい。

なお、請求書面には『**専門医資格更新書類請求**』と朱書きして下さい。

≪請求期間≫ 平成23年12月1日(木)～12月16日(金)

b. 必要書類(コピー1部を必ず手元に保管して下さい)

1) 日本形成外科学会専門医資格更新申請書。

2) 手引き添付の書式に準じた当該年間の実績記録。(書式見本をご参照下さい)

3) 学術集会(関連学会、研修会等)出席の本人が確認できる参加証明書(コピー不可)または受講票、学会発表該当部分のプログラムコピー等、および掲載論文別刷の表紙のコピー。

4) **平成21年1月～平成23年12月までの年間診療実績記録**。(すでに日形会誌28巻6月号、11月号にてお知らせしておりますが、年間診療実績記録を頂くことになっております)(**会告最終頁をご参照下さい**)

5) 審査料30,000円(更新料10,000円を含む):本委員会郵便振替口座へ振込んで下さい。(申請書類に同封する郵便振替用紙をご使用下さい)

なお、満65歳以上の専門医は審査更新料の一部が減免されますので、10,000円をお振込み下さい。

以上、一括して専門医生涯教育委員会宛に書留またはそれに準じる方法で送付して下さい。

c. 書類提出期間

平成23年12月8日(木)～平成24年1月13日(金) (必着)

d. 提出先

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-4-12 新宿ラムダックスビル10階
社団法人 日本形成外科学会・専門医生涯教育委員会 宛

4. 専門医更新審査の時期と結果通知について

平成24年1月下旬～2月初旬に実施。審査結果は理事長に報告し理事長の承認のもと、平成24年3月31日までに認定証を送付する予定です。

【訂正】

日形会誌 Vol.31 No.6 に会告いたしました際(3.申請手続き方法:b.4)、

「平成22年1月～平成23年12月までの年間診療実績記録・・・」

となっておりましたが、正しくは下記のとおりです。

「平成21年1月～平成23年12月までの年間診療実績記録・・・」

訂正してお詫び申し上げます。

日本形成外科学会事務局

別表 専門医資格更新のための生涯教育基準点数

項 目	点 数	項 目	点 数
学術研修集会出席			
日本形成外科学会学術集会および日本形成外科学会基礎学術集会	15	日本臨床皮膚外科学会	6
国際形成外科学会	10	日本形成外科手術手技研究会(平成22年度承認)	6
日本形成外科学会支部学術集会	8	(旧：形成外科手術手技研究会、形成外科内視鏡・手術手技研究会)	
国際熱傷学会	8	日本レーザー医学会(平成23年度承認)	6
国際頭蓋顔面外科学会	8	関連学会研修会	4
国際美容外科学会	8	日本医師会生涯教育講座	4
国際口蓋裂学会	8	複数施設の合同研究会	3
国際マイクロサージャリー学会	8	その他特に委員会が認めたもの(一覧表参照)	
国際手外科学会	8		
その他の国際形成外科学会(アジア太平洋地区、ヨーロッパ地区など)	8	学会発表	
各国の形成外科学会総会	8	日本形成外科学会講習会(講師)	8
日本形成外科学会地方会(東京地方会等)	6	日本形成外科学会学術集会時の特別講演、教育講演	8
日本形成外科学会学術講習会	6	関連学会の特別講演、教育講演、シンポジウム、パネルディスカッション	8
日本口蓋裂学会	6		筆頭 共同(2人まで)
日本熱傷学会	6	日本形成外科学会	6 2
日本頭蓋顎顔面外科学会	6	国際形成外科学会	6 2
日本救急医学会	6	関連国際学会	6 2
日本手外科学会	6	日本形成外科学会支部学術集会	3 1
日本美容外科学会(JSAPS)※	6	関連学会	3 1
日本先天異常学会	6	日本形成外科学会地方会	3 1
日本マイクロサージャリー学会	6		
日本職業・災害医学会	6	論文・原著・著書掲載誌	
日本頭頸部癌学会(旧：日本頭頸部腫瘍学会)	6	日本形成外科学会会誌	1 2 3
日本褥瘡学会	6	雑誌：形成外科	1 2 3
日本創傷治癒学会	6	関連学会誌	1 2 3
日本頭蓋底外科学会	6	外国で発行の形成外科専門誌	1 2 3
日本創傷外科学会(平成21年度承認)	6	その他の学術雑誌	8 2
日本医学会総会	6	関連著書(学術的なもの、医家向けのもの)	
日本皮膚悪性腫瘍学会(平成16年度承認)	6		1 2 3

※総会・学術集会がある時は6点ですが、学術集会のみの時は3点となります。

委員会承認の関連学会・研修会ならびに国際学会と所定点数一覧表

(平成23年4月現在)

A) 関連学会

【平成3年度承認分】

眼瞼・義眼床手術研究会	出席4点、筆頭3点、共同2人まで1点
日本熱傷学会九州地方会	出席3点、筆頭3点、共同2人まで1点

【平成4年度承認分】

日本シミュレーション外科学会 (旧：日本コンピュータ支援外科学会)	出席4点、筆頭3点、共同2人まで1点
日本熱傷学会中国・四国地方会	出席3点、筆頭3点、共同2人まで1点

【平成5年度承認分】

日本外科系連合学会 日本乳癌学会	以上出席4点、筆頭3点、共同2人まで1点
---------------------	----------------------

日本熱傷学会近畿地方会 出席3点、筆頭3点、共同2人まで1点

【平成7年度承認分】

日本熱傷学会東北地方会 出席3点、筆頭3点、共同2人まで1点

【平成8年度承認分】

日本熱傷学会東海地方会 出席3点、筆頭3点、共同2人まで1点

日本バイオマテリアル学会 出席4点、筆頭3点、共同2人まで1点

【平成9年度承認分】

日本熱傷学会関東地方会
日本熱傷学会北陸地方会
日本熱傷学会甲信地方会 以上出席3点、筆頭3点、共同2人まで1点

【平成13年度承認分】

日本熱傷学会北海道地方会
日本褥瘡学会中国・四国地方会 以上出席3点、筆頭3点、共同2人まで1点

【平成15年度承認分】

日本褥瘡学会北海道地方会 出席3点、筆頭3点、共同2人まで1点

【平成16年度承認分】

日本褥瘡学会中部地方会 出席3点、筆頭3点、共同2人まで1点

【平成19年度承認分】

日本褥瘡学会九州地方会 出席3点、筆頭3点、共同2人まで1点

【平成20年度承認分】

日本褥瘡学会東北地方会 出席3点、筆頭3点、共同2人まで1点

日本レーザー医学会 出席4点、筆頭3点、共同2人まで1点

※日本レーザー医学会は平成23年3月31日までは出席3点、平成23年4月1日より出席6点、筆頭3点、共同2人まで1点として承認

【平成21年度承認分】

Craniosynostosis 研究会
癩痕・ケロイド治療研究会
日本抗加齢医学会 以上出席4点、筆頭3点、共同2人まで1点
日本末梢神経学会 出席3点、筆頭3点、共同2人まで1点

【平成22年度承認分】

日本臨床毛髪学会 出席3点、筆頭3点、共同2人まで1点

【平成23年度承認分】

東日本手外科研究会 出席3点、筆頭3点、共同2人まで1点

B) 関 連 国 際 学 会

【平成3年度承認分】

国際美容外科学会教育講習会
日韓国際形成外科学会
日中形成外科学術交流会 以上出席8点、筆頭6点、共同2人まで2点

【平成17年度承認分】

国際シミュレーション外科学会 出席6点、筆頭3点、共同2人まで1点

【平成21年度承認分】

国際形成外科学会アジア太平洋地区会議(IPRAS・APS) 出席8点、筆頭6点、共同2人まで2点

C) 研 修 会

【平成3年度承認分】

東京大学形成外科同門会学術集会

神奈川県形成外科症例検討会

長崎形成外科懇話会

岡山形成外科医会 (旧:岡山形成外科懇話会)

形成外科臨床会

以上出席3点

大阪形成外科集談会 (平成21年3月31日まで承認)

出席3点

【平成4年度承認分】

大分形成外科懇話会

西中国形成外科研修会

宮城県形成外科懇話会

以上出席3点

【平成5年度承認分】

静岡県形成外科医会 (旧:静岡県形成外科懇話会)

出席3点

兵庫県形成外科医会 (平成21年3月31日まで承認)

出席3点

【平成6年度承認分】

昭和大学形成外科同門会学術集会

出席3点

【平成7年度承認分】

東海マイクロサージャリー研究会

東北大学形成外科同門会学術集会

京都形成外科医会

大阪形成外科医会

以上出席3点

日本手外科秋期教育研修会

出席4点

【平成8年度承認分】

日本形成外科手術手技研究会 (旧:形成外科手術手技研究会、形成外科内視鏡・手術手技研究会) 以上出席3点

※日本形成外科手術手技研究会は平成22年3月31日までは出席3点、平成22年4月1日より出席6点、筆頭3点、共同2人まで1点として承認

【平成9年度承認分】

東北マイクロサージャリー懇話会

京大形成外科集談会

北陸手の外科研究会

以上出席3点

【平成10年度承認分】

徳島形成外科集談会

山形形成外科懇話会

以上出席3点

広島マイクロサージャリー講習会 (平成19年3月31日まで承認)

出席3点

【平成11年度承認分】

慶應義塾大学形成外科同門会学術集会

新宿熱傷フォーラム (旧・四施設熱傷研究会) (平成12年度実施のものよりカウント) 以上出席3点

【平成12年度承認分】

東海頭蓋底外科研究会

九州昭和大学同門会学術集会

以上出席3点

【平成13年度承認分】

北里形成外科フォーラム

千葉県形成外科研究会

愛媛形成外科研修会

KC会

以上出席3点

四国マイクロサージャリー研究会 (平成 21 年 3 月 31 日まで承認)

出席 3 点

【平成 14 年度承認分】

静岡手の外科・マイクロサージャリー研究会

中部日本手の外科研究会

大阪マイクロサージャリー研究会

以上出席 3 点

青森形成外科医会 (平成 19 年 3 月 31 日まで承認)

出席 3 点

【平成 15 年度承認分】

茨城県北形成外科研究会

横浜形成外科フォーラム

以上出席 3 点

近畿手の外科症例検討会

出席 1 点

※近畿手の外科症例検討会は平成 22 年 3 月 31 日までは出席 3 点、平成 22 年 4 月 1 日より出席 1 点として承認

大阪市形成外科集談会 (平成 19 年 3 月 31 日まで承認)

出席 3 点

【平成 16 年度承認分】

埼玉手の外科研究会

出席 3 点

【平成 17 年度承認分】

高知県形成外科医会

出席 3 点

【平成 19 年度承認分】

形成外科新宿フォーラム

北海道頭頸部腫瘍研究会

出席 3 点

【平成 20 年度承認分】

血管腫・血管奇形研究会

札幌形成外科研究会 (旧：札幌合同症例検討会)

福島県形成外科研究会

東京医科歯科大学形成外科集談会

以上出席 3 点

【平成 21 年度承認分】

日本手外科学会春期教育研修会

出席 4 点

【平成 22 年度承認分】

筑波大学形成外科同門会

日本顔面神経研究会

以上出席 3 点

【平成 23 年度承認分】

山陰形成外科懇話会

兵庫県形成外科医会研究会

以上出席 3 点

多摩形成外科症例検討会

京滋手の外科・末梢神経セミナー

備後形成外科医会

末梢神経を語る会

沖縄形成外科研究会

北海道形成外科フォーラム“北の大地”

旭川手の外科を考える会

郡山形成外科研究会

とちぎ形成外科懇話会

以上出席 1 点

※専門医更新にあたっては、別紙提出書類見本をご参照の上、提出書類を作成願います。

実 績 記 録 (書 式 見 本)

申請者氏名 _____

学会出席・学会発表 (H18(2006)/1/1～H23(2011)/12/31)

平成 年 月 日	学会名 (研修会, 教育講演等).	(開催地)	実 績 点 数
18. 4. 12-14	第 49 回日本形成外科学会総会学術集会 同上：一般演題発表 (第二共同演者) (プログラムコピー添付)	(東京)	1 5 2
18. 6. 8-9	第 32 回日本熱傷学会総会	(横浜)	6
18. 9. 2	第 247 回日本形成外科学会関東支部東京地方会		6
18. 10. 12-13	第 15 回日本形成外科学会基礎学術集会	(東京)	1 5
		平成 1 8 年	小計 4 4 点
19.		平成 1 9 年	
20.		平成 2 0 年	
21.		平成 2 1 年	
22.		平成 2 2 年	
23.		平成 2 3 年	
6 年間総計			1 7 6 点

※ 上記は 6 年更新該当者用の実績記録です。5 年更新該当者は平成 19 年からの実績記録を提出して下さい。

形成外科診療実績記録はホームページよりダウンロードが可能です。

http://www.jsprs.or.jp/member/application_forms/

HOME>会員の方へ>申請書類>実績記録 学会出席・発表

実 績 記 録 (書 式 見 本)

申請者氏名 _____

論 文 (原著、総説、症例報告、著書等) (H18(2006)/1/1~H23(2011)/12/31)

発行年.月	著 者 名	論 文 題 名. 掲載誌, 巻 : ページ	実績点数
H18.12	菅原康志 波利井清紀	3次元CT画像での測定における再現性の 検討, 日形会誌, 25 : 12 平成 18 年度	1 2 小計 1 2 点
H19.10	皆川次郎	Tissue expansion 手術. 形成外科手術手技シリーズ:皮膚表面外科, 大浦武彦編, p.151, 克誠堂 平成 19 年度	1 2 小計 1 2 点
H20.			
H21.			
H22.			
H23.			
6 年間総計			2 4 点

※ 上記は 6 年更新該当者用の実績記録です。5 年更新該当者は平成 19 年からの実績記録を提出して下さい。

形成外科診療実績記録はホームページよりダウンロードが可能です。

http://www.jsprs.or.jp/member/application_forms/

HOME>会員の方へ>申請書類>実績記録 論文

形成外科診療実績記録（書式見本）

申請者氏名 _____

診療実績（H21(2009)/1/1～H23(2011)/12/31）

期間	診療を行った施設名 ：所在地	勤務の態様 (常勤・非常勤)	外来担当日数： 1日の患者数（平均）	手術件数 (月平均)	手術以外の治療 内容と件数 (月平均)
3年間の合計 約 件					3年間の合計 約 件

※年度別に勤務先ごとに罫線で分けて記入してください。

※欄が不足する場合にはコピーして使用してください。

形成外科診療実績記録はホームページよりダウンロードが可能です。

http://www.jsprs.or.jp/member/application_forms/

HOME>会員の方へ>申請書類>年間診療実績記録（更新申請）